




団体名	特定非営利活動法人 大山捕獲隊		
団体の所在地	篠山市	代表者名	西牧正美

1. 事業名	住民参加型アライグマ排除事業		
2. 実施期間	2013年4月1日～2014年3月31日		
3. 主な実施場所	兵庫県内、現在は篠山市		
4. 活動形態	普及啓発活動 実践活動 調査活動		
5. 活動内容・結果 (参加者、階層・人数等)	<p><b>【活動内容】</b>          特定外来生物の侵入によって、乱れかけている「自然の生態系の復活と保全」をテーマに、アライグマ・ヌートリアの捕獲活動を進めています。</p> <p><b>【参加者】</b>          隊員14名(内、理事7名)。          本格的に捕獲を始めて、3年目を終えました。最初は一つの自治会から始めましたが、現在は、5自治会・180戸(総数)が参加をして「地域連動型捕獲活動」を進めています。</p>		
6. 成果・反響・反省点等	<p><b>【成果】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>アライグマが侵入し棲息を始めて、起こり始めた農産物の被害や、居宅に侵入する生活被害も激減し、被害「ゼロ」の地域が広がり喜ばれています。</li> <li>野外では、カエルやカニが戻り始めて、かつて広がっていた中山間地域の自然にかえり始めているようです。</li> <li>地域で捕獲活動が馴染み、個体捕獲の際にも複数の住民の方から連絡をいただくようになって、地域に定着して来たことが感じられます。</li> </ol> <p><b>【反省点】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>活動を自治会単位に広げる場合、やはり「地域間の温度差」があり、自治会長さんの手腕にもよりますが、この対応には経験とノウハウがいるところであり、現状のデータの収集に努め、今後に向けての資料を作成中でもあります。</li> <li>活動の内容から、「公益事業」から「収益事業」への転換が難しく、当初からの問題点として議題に上がり続けています。「街の捕獲屋さん」と云うスタンスでは無く、「地域」を単位として、人任せにしない住民主体の活動によって「安心と安全」を守るという現状の解決には、相応の時間が要ると考えています。</li> </ol>		
7. 成果物	特にありません。		
8. 活動写真・説明	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>全体会議</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>自治会合同会議</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>わな設置講習</p> </div> </div>		